

その他  
火災  
事例  
1

廃車集積所の火災に出動し、鎮圧状態の積み重ねられた廃車の上で筒先担当員として前方の炎に向かって放水、足場としていた廃車の下部及び後方のホースの近くで再燃が起こり、炎の間に挟まれてしまった。



結果 負傷無し

▶▶▶ 対策

廃車置場の火災は、座席シート、ガソリン、オイル等の可燃物が大量に残存されていることを想定して活動する。

廃車は不安定な状態で集積されているので、その上での活動は避け、1台ずつ地上に除去して活動する。

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

捜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

往復経路

点検整備  
その他

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

捜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

往復経路

点検整備  
その他

その他  
火災  
事例  
2

木材工場跡地に野積された古タイヤが出火した火災に出動し、筒先補助員としてホースを保持し火点へ向かい放水作業をしていた際、夜間で暗くコンクリート製のピットが確認できず左足から落下し、ピット内にあった廃材に左手を打ちつけた。

結果

左手人差指剥離骨折

▶▶▶ 対策

夜間の災害活動は、照明装置や器具を装備するとともに検索棒を活用し、足元や周囲の安全を確認して行動する。

その他  
火災  
事例  
3

草捨場の火災に出動し、ポンプ車で現場へ向かう途上、通常の点検時にポンプを引き出して戻した際、固定用のピンを刺し忘れたため、ポンプが落下しそうになった。

結果

負傷無し

▶▶▶ 対策

機械器具の点検時には「指差し呼称」を励行し、点検もれを防ぐため点検表を活用する。

その他  
火災  
事例  
4

約 5,000㎡の空き地の枯草火災に出動し、筒先担当員としてホースを延長していた際、枯草の陰にあり死角となっていた箇所に古井戸があるのに気づかず、転落しそうになった。



**結果** 負傷無し

▶▶▶ 対策

広大な空地での活動は、歩行障害が確認できないことが多く、進入に際しては予備注水を行うとともに検索棒を活用し、足元や周囲の安全を確認して行動する。

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

搜索救助

演習訓練

ポンプ操作

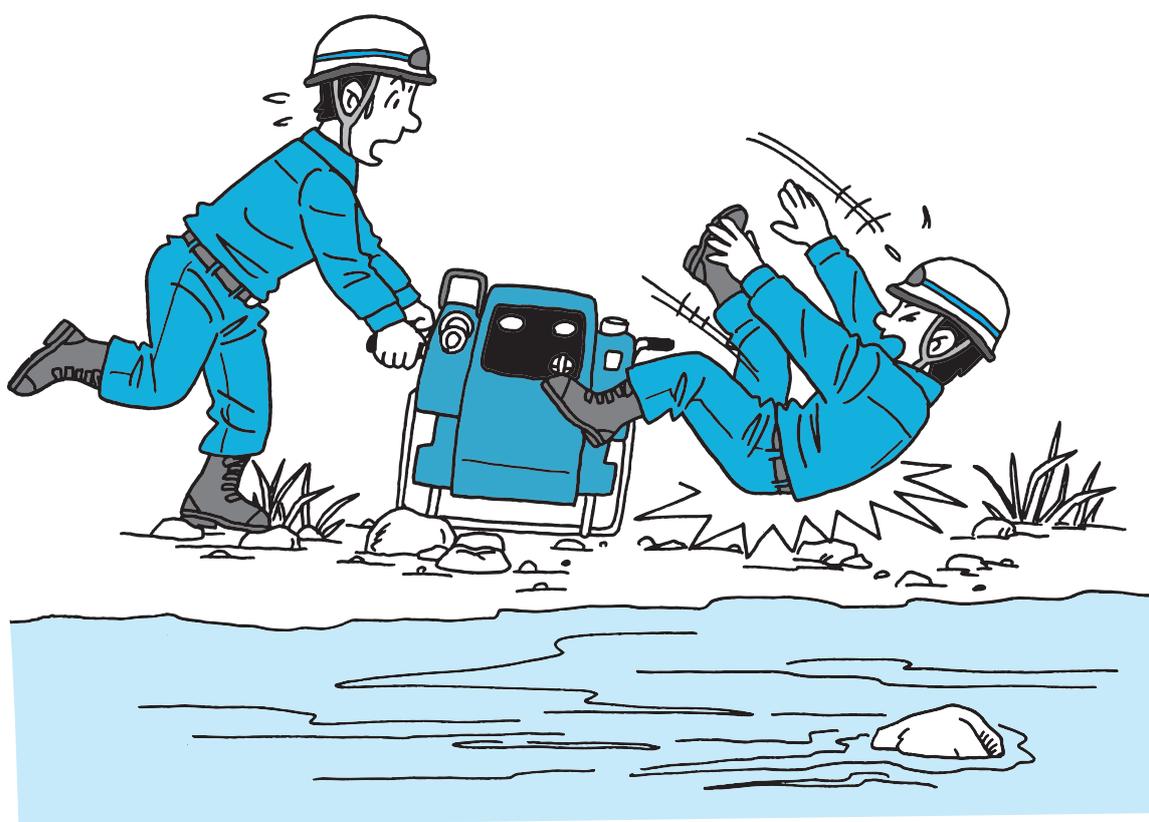
警戒・広報

往復経路

点検整備  
その他

その他  
火災  
事例  
5

花火大会の警備に出動し活動中、花火の打ち上げ場所から出火があり、消火作業のため小型ポンプを2人で運搬し、川辺に設置しようとした際、現場が暗く、足場が悪かったため後ろ向きで運搬していた団員が足を取られて転倒した。



結果

負傷無し

▶▶▶ 対策

夜間、小型ポンプを河川に水利部署するときは、安全管理員を配置するとともに照明装置や器具を装備し、安全管理員の誘導で水利部署する。小型ポンプを持ち上げるときは、膝を曲げ、背筋を伸ばし腰を十分におろして膝を伸ばしながら立ち上がり、ポンプの搬送は4人で声を掛け合い、安全管理員の誘導で行う。

その他  
火災  
事例  
6

その他火災に出動し、左手に分岐金具、右手にホースを持ち、背中に管鎗を背負い、消防ポンプ自動車から火点近くまで移動しようとしたが、丘陵地で傾斜があったため登れず、引き返していた際、途中の草が茂っている地面に窪みがあり、つまずいてバランスを崩し転倒し、左手に持っていた分岐金具で胸を強打した。



結果 胸部打撲

▶▶▶ 対策

搬送重量は、体力に余裕を残した重さとし、傾斜の緩急、雑草の繁殖、窪み、石ころ等を確認する。

傾斜を降りるときは、傾斜に対して横向きで、体重を山側に足元が滑らないようにして、意識を集中しながら一歩ずつ下りる。

重量資器材は、2人以上で搬送する。

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

搜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

往復経路

点検整備  
その他

その他  
火災  
事例  
7

車両火災に出動し、現場付近の緩やかな傾斜地に消防車両を駐車して消火活動に従事していた際、消火活動に集中するあまり、車両固定措置を怠ったため、車両がゆっくりと後退した。

結果 負傷無し

▶▶▶ 対策

消防車両を部署するときは、サイドブレーキを所定の位置まで確実に操作し、車輪止めを使用し「指差し呼称」を励行する。

その他  
火災  
事例  
8

夜間に国道上で発生した車両火災に出動し、現場で警察官が到着するまでの間、交通整理を行っていた際、普段着でヘルメットを着用せず、ライト等を携行せずに行っていたため、通行した車両が団員に気づくのが遅れ、接触しそうになった。

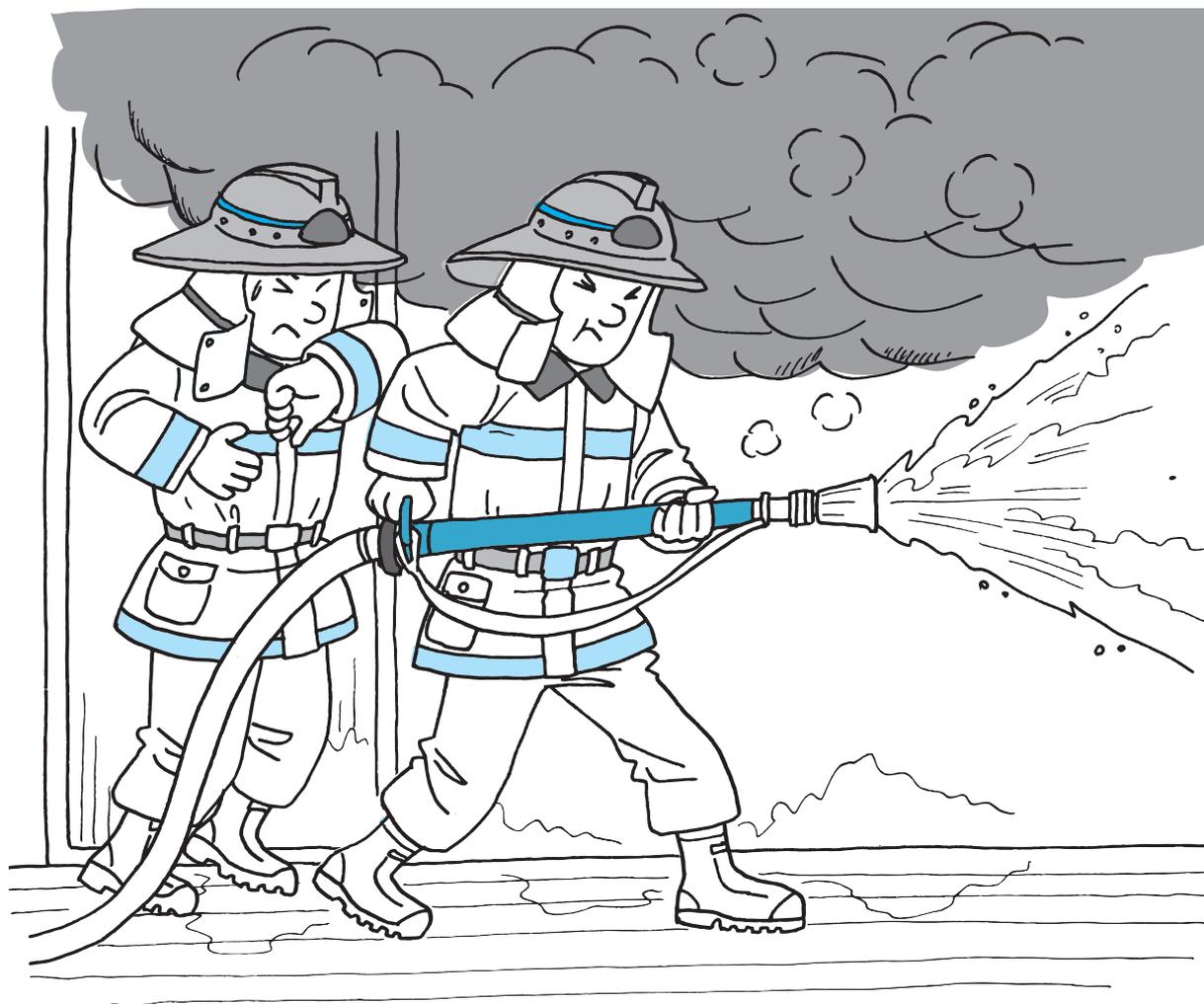
結果 負傷無し

▶▶▶ 対策

災害現場ではヘルメットの着用を厳守し、装備しているシグナルライトの活用を徹底する。

その他  
火災  
事例  
9

船舶火災に出動し、筒先担当員として船内で消火作業中、FRP（船舶材質）燃焼のため黒煙が上がり、場所が狭く煙の中での活動となったため、呼吸が困難になった。



結果 負傷無し

▶▶▶ 対策

船内の船室や通路は狭いので、活動に当たっては、重心を低くし照明器具や空気呼吸器を装着するとともに命綱を装着し退路を確保して活動する。

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

捜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

往復経路

点検整備  
その他

建物火災

林野火災

その他火災

風水害

捜索救助

演習訓練

ポンプ操作

警戒・広報

往復経路

その他

その他  
火災  
事例  
10

牧草ロールの火災に出動し、牧草地で筒先担当員として消火活動をしていた際、外気温の上昇と消火活動による疲労のため、全身から発汗し脱水症状を呈した。

結果 熱中症

▶▶▶ 対策

炎天下の屋外での災害活動では、脱水症状を防止するために、現場指揮者は、水分の補給、交代要員の確保を早めに行うとともに、軽量の装備での活動管理を徹底する。